



**灌注処理で省力化!**

水稻用殺虫殺菌剤

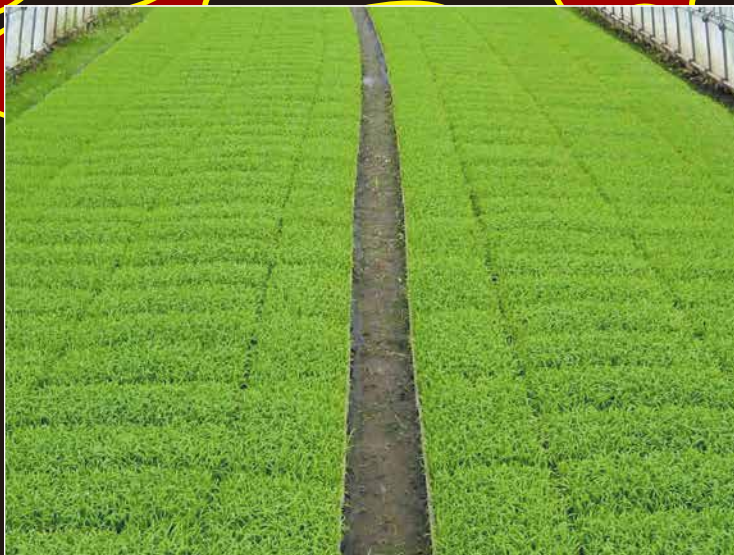
# ツインターボ®

顆粒水和剤

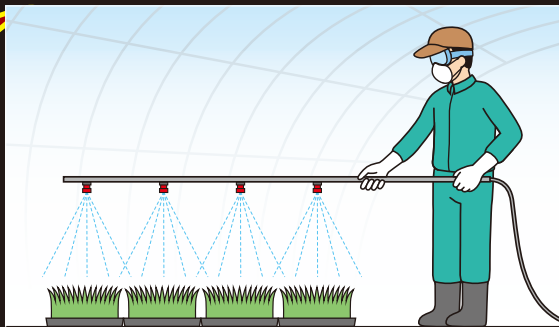


溶けやすい!

ツインパワーで病害虫防除



育苗箱1箱あたり500ml処理、製品1本で20枚の育苗箱処理が可能



溶けやすく灌注処理がしやすい



いもち病



イネドロオウムシ



イネミスゾウムシ

# ツインターボ<sup>®</sup>

## 顆粒水和剤

農林水産省登録 第23207号 有効成分：クロチアニジン…15.0% イソチアニル…20.0% 製剤毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

### 特長

- 1 いもち病防除に、新しい有効成分「イソチアニル」含有**  
イソチアニルは耐性菌発達リスクが低い病害抵抗性誘導剤です。既存の薬剤に耐性を持ったいもち病菌に対しても効果が高く、長い残効性を持っているので、安心して使用できます。
- 2 高活性・長期持続性の「クロチアニジン」で効率的な害虫防除**  
イネドロオウムシとイネミスズウムシに効果を示すクロチアニジンを配合。長期にわたって害虫を防除します。
- 3 コンパクトな製剤と優れた溶解性**  
製品1箱・100gで10ℓの薬液が簡単に調製できます。育苗箱1箱あたり500mℓ処理ですので製品1箱で20枚の育苗箱処理ができます。
- 4 動植物や環境などに対して高い安全性**  
人畜、水産動植物などへの安全性が高く、有効成分配合量が少ないので、環境への影響が少ない薬剤です。

### 適用病害虫および使用方法

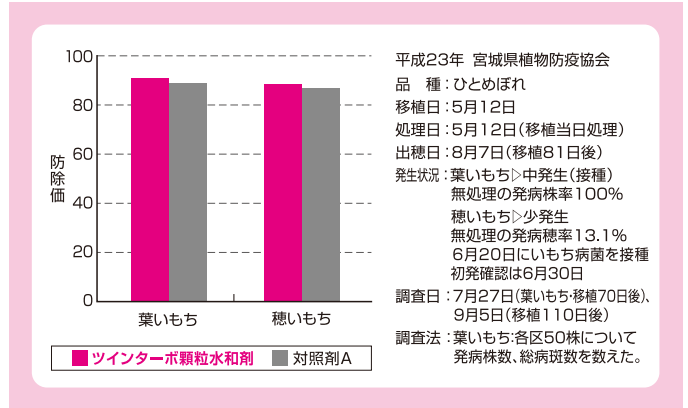
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量 または 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオウムシ	100倍	育苗箱 (30×60×3cm.) 使用土壌約5ℓ 1箱当り500mℓ	移植3日前～ 移植当日	1回	灌注	4回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計3回以内)	3回以内 (移植時までの処理は 1回以内、 本田では2回以内)
稲	イネミスズウムシ	—	100g/10a	移植時		ペースト肥料に 混合し 側条施肥田植機で 施用する	4回以内 直播では種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計3回以内	3回以内 直播では種時又は 移植時までの処理は 1回以内、 本田では2回以内

2020年6月現在の登録内容

### ■育苗箱灌注処理での使い方

- 1 本剤の希釈液を作る**  
本剤(100g)を水(10ℓ)に入れ十分に溶かします
- 2 所定量を育苗箱の上から均一に灌注**
- 3 通常管理した苗を田植え**

### ■いもち病に対する効果



### ■注意事項

#### 〈使用上の注意〉

- 本剤をペースト肥料と混合して側条施用する場合は、次の事項に注意をしてください。
  - ①あらかじめ同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用してください。
  - ②混合したペースト肥料は、その日のうちに使用してください。
  - ③砂質土壌及び漏水の大きな水田での使用はさけてください。
  - ④同一の病害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤とは併用しないでください。
  - ⑤使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に流入しないよう注意してください。
  - ⑥軟弱徒長苗、おれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧にを行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田では、いぐさを栽培しないでください。
- 本剤を稲(箱育苗)に使用する場合は、さく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理してください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

#### 〈安全使用上の注意〉

- 眼に対して弱い刺激性があるので目に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。 ●防除日誌を記載しましょう。

1848 (20-7)